



麦づくり情報(No.1)

1. 麦作況情報田の生育概況(1月20日調査)

場所	品種名		播種日	苗立数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈葉数 (L)	概況
大和	シロガネコムギ 6条播き	本年値	11/22	173	9.1	555	5.2	苗立数は平年より多い。 草丈は平年よりやや高い。 茎数は平年より多い。 葉令からみた生育は平年に比べ早い。
		平年値	11/27	145	8.9	282	3.9	
		平年比	-5日	119	103	197	1.3	
牛津	サチホゴールデン 4条播き	本年値	12/9	151	8.9	163	2.2	苗立数は平年より多い。 草丈は平年より高い。 茎数は平年より少ない。 葉令からみた生育は平年に比べやや遅い。
		平年値	12/7	127	7.0	192	2.5	
		平年比	+2日	119	128	85	-0.3	

参考 農試作況データ(1月20日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	出芽期 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (L)	概況 (平年値または平均値と比較して)
シロガネコムギ	11/21	本年	11/29	16.6	390	4.5	[気象] 11月21日～1月19日まで ◆平均気温…0.7℃高い (12月4～6半旬は2.3℃低く、 1月2～3半旬は3.8℃高かった。) ◆日照時間…長い(平年比113%) (12月6～1月2半旬においては平 年比174%) ◆降水量…やや少ない(平年比96%) (1月3半旬は64.5mmの降雨) [生育] ◆出芽期 11/21播種「シロガネコムギ」 の出芽期は3日早い。12/9播種「シ ロガネコムギ」、12/9播種大麦は2 ～6日遅い。12/1播種大麦は平年 並。 ◆草丈 12/9播種「サチホゴールデン」 でやや高い。その他は高い。 ◆茎数 「シロガネコムギ」、12/9播種大 麦は少ない。12/1播種大麦は多い。 ◆葉齢 「はるか二条」、12/1播種「サチ ホゴールデン」は進んでいる。 11/21播種「シロガネコムギ」は やや遅れている。12/9播種「シロ ガネコムギ」、12/9播種「サチホ ゴールデン」は遅れている。 ◆幼穂長及び節間長 11/21播種「シロガネコムギ」 幼穂長0.8cm、節間長2.9cm
		平年	12/2	14.4	460	4.7	
	平年比(差)	-3	115	85	-0.2		
	12/9	本年	1/1	10.2	150	2.3	
平年		12/26	8.9	171	2.6		
平年比(差)	+6	115	88	-0.3			
サチホゴールデン	12/1	本年	12/20	10.4	311	3.2	◆出芽期 11/21播種「シロガネコムギ」 の出芽期は3日早い。12/9播種「シ ロガネコムギ」、12/9播種大麦は2 ～6日遅い。12/1播種大麦は平年 並。 ◆草丈 12/9播種「サチホゴールデン」 でやや高い。その他は高い。 ◆茎数 「シロガネコムギ」、12/9播種大 麦は少ない。12/1播種大麦は多い。 ◆葉齢 「はるか二条」、12/1播種「サチ ホゴールデン」は進んでいる。 11/21播種「シロガネコムギ」は やや遅れている。12/9播種「シロ ガネコムギ」、12/9播種「サチホ ゴールデン」は遅れている。 ◆幼穂長及び節間長 11/21播種「シロガネコムギ」 幼穂長0.8cm、節間長2.9cm
		2か年平均	12/20	9.2	249	2.7	
	平年比(差)	0	113	125	+0.5		
	12/9	本年	1/2	8.9	160	2.0	
平年		12/28	8.5	211	2.4		
平年比(差)	+5	105	76	-0.4			
はるか二条	12/1	本年	12/19	9.1	376	3.0	◆出芽期 11/21播種「シロガネコムギ」 の出芽期は3日早い。12/9播種「シ ロガネコムギ」、12/9播種大麦は2 ～6日遅い。12/1播種大麦は平年 並。 ◆草丈 12/9播種「サチホゴールデン」 でやや高い。その他は高い。 ◆茎数 「シロガネコムギ」、12/9播種大 麦は少ない。12/1播種大麦は多い。 ◆葉齢 「はるか二条」、12/1播種「サチ ホゴールデン」は進んでいる。 11/21播種「シロガネコムギ」は やや遅れている。12/9播種「シロ ガネコムギ」、12/9播種「サチホ ゴールデン」は遅れている。 ◆幼穂長及び節間長 11/21播種「シロガネコムギ」 幼穂長0.8cm、節間長2.9cm
		2か年平均	12/19	7.2	266	2.5	
	平年比(差)	0	126	141	+0.5		
	12/9	本年	1/1	8.4	201	2.2	
5か年平均		12/30	7.8	217	1.7		
平年比(差)	+2	108	93	+0.5			

生育概況

- 播種時期は、降水量が少なく、圃場が乾いた圃場が多く順調に行われた。
- 11月中に播種された小麦は、天候に恵まれ順調に出芽し、現在4～5葉期となっている。
- 大麦は11月下旬から播種が始まり、12月上旬がピークとなった。
12月上旬播種の大麦は、12月の少雨・乾燥で出芽がやや遅れ、現在2～3葉期となっている。
- 12月下旬から1月1半旬の低温で、分けつの発生がやや緩やかとなっているが、生育は順調である。
- 昨年問題となったヤギシロトビムシの被害は、播種後の降雨で出芽が一斉にそろった圃場が多く少ない傾向である。

2. 今後の管理

○追肥

- ・地域の暦に応じて、基準量を施用する。
- ・施用時期の目安は、本葉3～4葉期
- ・11月下旬播種の小麦は、時期を迎えているため速やかに施用する。
- ・12月上旬播種の大麦は、施用時期が近づいているため、圃場を確認する。
- ・肥効を高めるため、施用後に土入れを実施する。

○麦踏み・土入れ

<踏圧（麦踏み）>

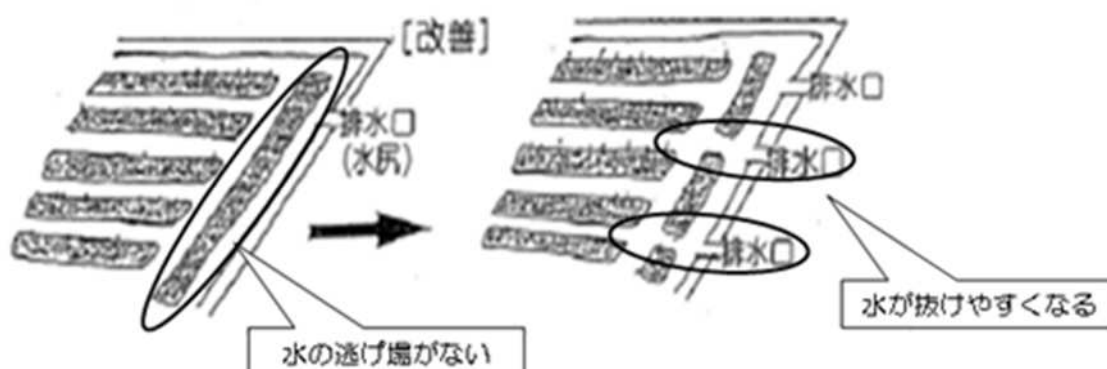
- ・3葉期以降に実施する。ただし、圃場の土壌水分が高い場合、土が締まり湿害を助長するため、必ず乾いた状態で行う。出芽が遅れた圃場では、生育を確認してから開始する。
- ・早期茎立ち抑制、出穂揃いをよくする効果があるため、条件が良いときに3～4回程度実施する。
- ・近年、乾燥状態が続いている時に短い間隔で踏圧を行ったことで、反対に生育抑制している圃場も見受けられるため、麦の生育の回復を待つて実施するようにする。

<土入れ>

- ・5葉期以降に雑草防除と排水対策もかねて、圃場の条件をみながら計画的に実施する。
出芽が遅れた圃場では、生育を確認してから開始する。
- ・土の量は、生育初期は少なめにし、生育が進むにつれて量を増していく。
- ・肥効を高めるため、追肥後に行うと効果的である。

○排水対策

- ・生育期間中の湿害が根の張りに大きく影響する。また、今後は降雨量が増えることが予測されるため、速やかに排水できるよう、降雨が多くなる前に、土入れ後は、溝を排水口まで通すなど整備し、圃場内に滞水しないよう管理する。



○雑草対策

一部の圃場で1年生広葉雑草を中心に雑草（ヤエムグラ、キンポウゲ類、アメリカフウロ、ミチヤナギなど）の発生が目立ってきている。現在使用できる生育期除草剤は、草種や使用時期によって効果に差があるため、優先している雑草の種類に応じ、処理時期を逸しないように早めに対処する。

【注意事項】

麦踏み：麦踏み前後の除草剤散布は、薬害を助長するため避ける。

土入れ：除草剤散布直後に行うと、有効成分の根部吸収が妨げられるので控える。

農薬名	効果のある雑草	使用量 (/10a)	希釈水量 (/10a)	使用時期	総使用回数	留意事項
ハーモニー75DF水和剤	1年生広葉雑草 スズメノカタビラ カブノカタビラ	5~10g	100L	は種後～節間伸長前 (スズメノカタビラ5葉期まで) (カブノカタビラ1~3葉期まで) ※小麦のみ は種後～穂ばらみ期まで 但し収穫45日前まで	1回以内	・カブノカタビラには10g/10aとし、土壌処理剤との体系処理で使用 ・周辺作物(特にタマネギ)への飛散には十分留意する ・ヤエムグラ、カスミソウへの効果は劣る
バサグラン液剤	1年生雑草 ※イネ科雑草には効果がない	100~200ml	70~100L	生育期(雑草3~6葉期) 小麦は収穫45日前、 大麦は収穫90日前まで	1回以内	・ミヤザギ、カスミソウ、ミノムシ等への効果は劣る
エコパートフロアブル※1	1年生広葉雑草 ※イネ科雑草には効果がない	50~100ml	100L	節間伸長開始期まで (広葉2~4葉期) (ヤエムグラ2~6節期) ただし収穫45日前まで	2回以内	・薬害が出やすい ・ヤエムグラ優先圃場での使用がおすすめ
MCPソーダ塩	1年生雑草及び多年生広葉雑草 ※イネ科雑草には効果がない	200~300g	70~100L	幼穂形成期まで 収穫45日前まで	1回以内	・ヤエムグラへの効果はやや劣る

※1 以下の場合、薬害が生じることがあるので留意する。

- ・重複散布は避け、麦が生育不良の場合は使用を避ける。
- ・効果、薬害に問題がないことが確認されていない薬剤との同時施用や7日以内の近接散布は避ける



ヤエムグラ



アメリカフウロ



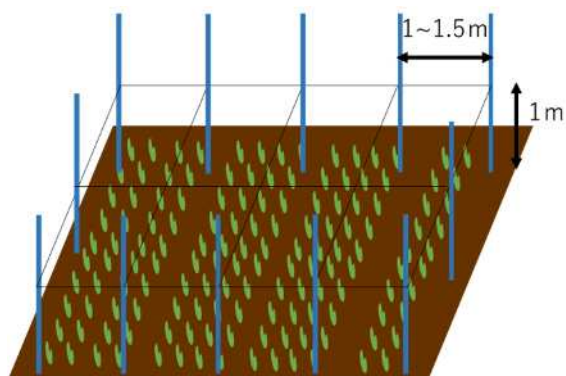
キンポウゲ

○鳥獣害対策

- ・カラス

黒のワイヤ線としなりやすい支柱を用いて、カラスの翼を広げた時の長さ(1~1.5m)の間隔で約1mの高さに設置することにより、飛来するカラスは嫌がる。

ただし、歩いてくるカラス、ハトやカモには効果がない。

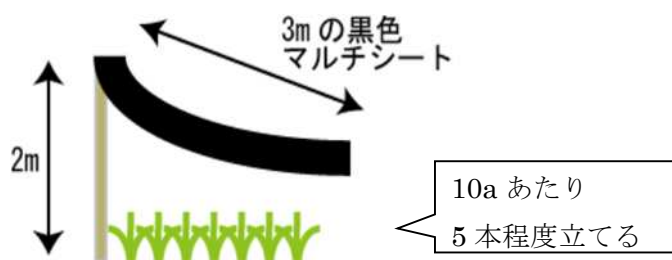


・カモ

本年もカモによる食害が各地で多く見られる。特にクリーク沿いにある圃場など食害に遭いやすい圃場では、のぼりを立てる等の対策を実施する。

【のぼりの設置について】

支柱に黒色マルチを吊したものを設置する。カモは水路から侵入することが多いため、圃場の水路寄りの部分を中心に設置すると効果的である。



「野生鳥獣被害防止マニュアルー鳥類編ー」農水省 等より作成



カモによる食害
バリカンで剪定したように見える

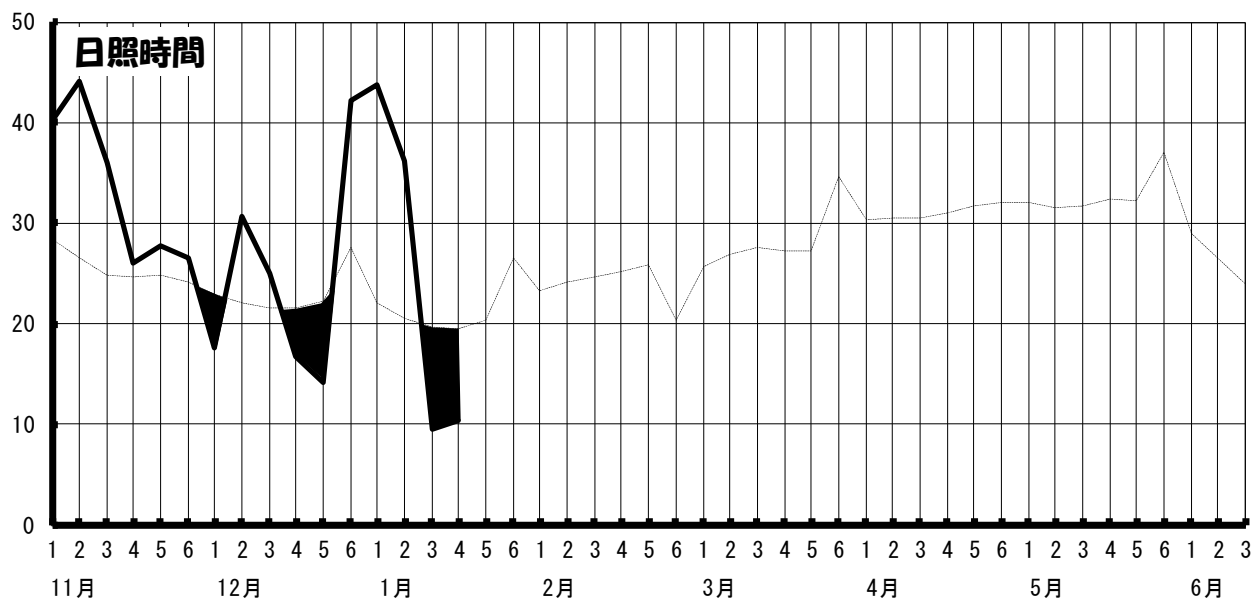
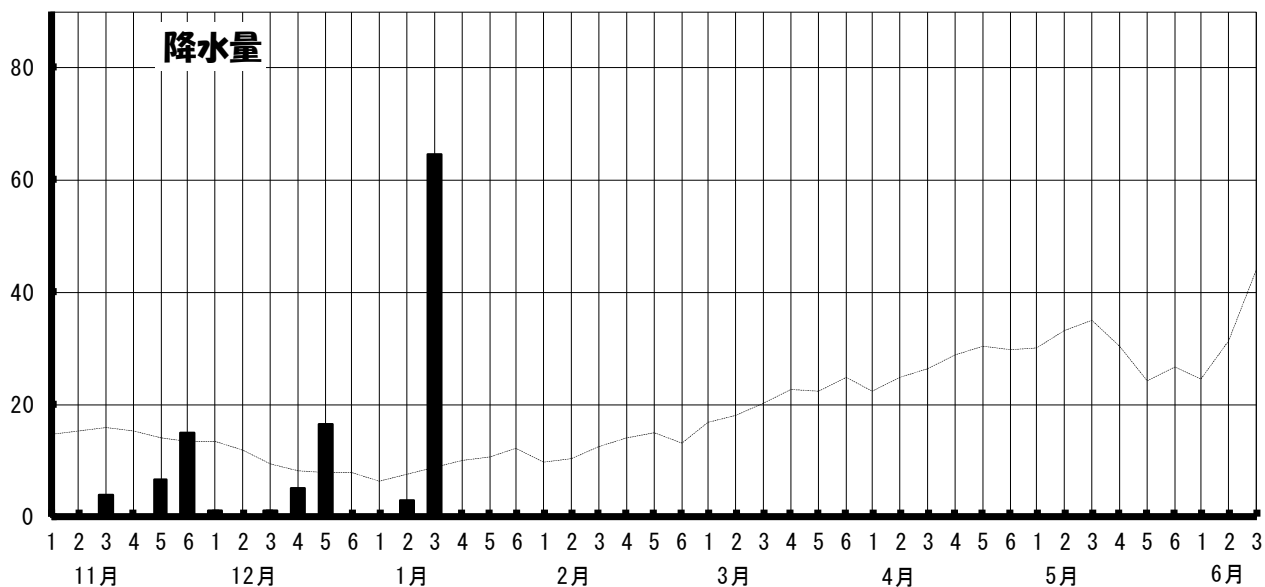
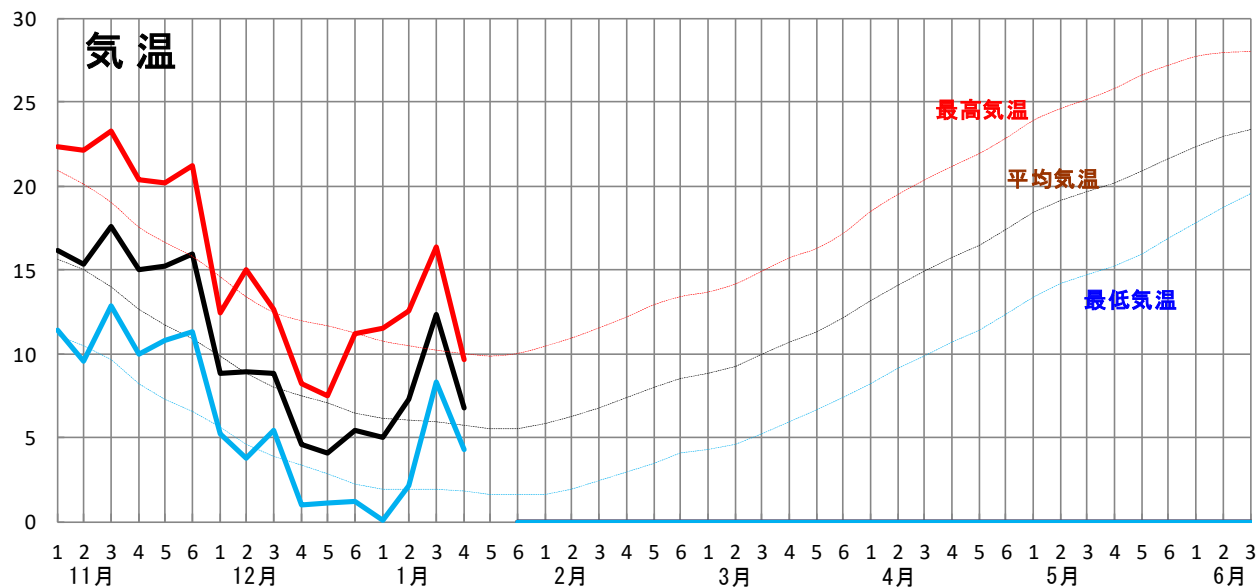


カルガモによる食害
日中に、集団で食害。
遠目には被害がわかりにくい、近づくと葉先の食害がみられる

令和5年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業振興センター



グラフ中の点線は平年値